

## 美瑛富士・携帯トイレ導入1年目の活動報告

山のトイレを考える会

### 1. 美瑛富士トイレ管理連絡会の設立

美瑛富士に携帯トイレを導入する課題は、携帯トイレブースの設置とその維持管理、回収した携帯トイレの処分でした。その中でも最大の課題は、携帯トイレブースの維持管理を誰が行うかでした。維持管理について、山のトイレを考える会から北海道の山岳団体等に呼びかけたところ、賛同をいただき、「美瑛富士トイレ管理連絡会」を2015年3月14日に設立することができました。携帯トイレブース等の点検パトロール(維持管理)を1～2週間に1回のペースで分担して実施する組織です。

2015年は6月下旬から9月下旬の3ヵ月間、初めての試みである仮設携帯トイレブース(テント型)を設置し維持管理することができました。維持管理に協力して頂いた道内山岳団体等の皆さま、イニシアチブをとって頂いた環境省東川自然保護官事務所、そして使用済み携帯トイレの処分を引き受けてくれた美瑛町に心から感謝いたします。

また、十勝岳温泉にも回収ボックスを設置しました。回収・処分・広報に協力いただいた上富良野町・上富良野振興公社・十勝岳温泉凌雲閣の皆様にも感謝申し上げます。

### 2. 2015年度取り組みの役割分担

仮設携帯トイレブース(テント型)の設置	環境省北海道地方環境事務所
携帯トイレ回収ボックスの設置	山のトイレを考える会
携帯トイレブース及び周辺の点検・清掃	美瑛富士トイレ管理連絡会(※1)
回収ボックスの維持管理	美瑛町・びえい白金温泉観光組合 上富良野町・上富良野振興公社
使用済み携帯トイレの回収・処分	美瑛町・上富良野町
取り組みの広報	関係機関(※2)・山のトイレを考える会

(※1)北海道内の山岳関係団体等・山のトイレを考える会で構成

(※2)環境省北海道地方環境事務所、林野庁上川中部森林管理署、北海道上川総合振興局、美瑛町

### 3. 2015年度点検パトロール等の実施日と担当団体

- ・6月18日(木)…白金温泉観光センターに携帯トイレ回収ボックスの設置  
(山のトイレを考える会・環境省・美瑛町・びえい白金温泉観光組合)
- ・6月19日(金)…十勝岳温泉登山口に携帯トイレ回収ボックスの設置  
(山のトイレを考える会・環境省・上富良野町)
- ・6月28日(日)…仮設携帯トイレブース設置：12名  
(環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等)
- ・7月11日(土)…白老山岳会：9名
- ・7月20日(月)…日本山岳会北海道支部：5名
- ・7月25日(土)…札幌山岳連盟：7名
- ・8月8日(土)…北海道山岳連盟：11名

- ・ 8月 23日（日）…道北地区勤労者山岳連盟：10名
- ・ 8月 29日（土）…大雪山国立公園パークボランティア連絡会：4名
- ・ 9月 6日（日）…道央地区勤労者山岳連盟：12名
- ・ 9月 15日（火）…北海道山岳ガイド協会：3名
- ・ 9月 27日（日）…仮設携帯トイレブース撤収：9名  
（環境省・美瑛山岳会・山のトイレを考える会等） のべ82名



美瑛富士避難小屋の仮設携帯トイレブース 白金観光センタートイレ裏の回収ボックス

#### 4. 広報活動について

- ・ 美瑛富士携帯トイレ使用のPRチラシは5,000枚作成  
（配布先）山トイレ会員、道内山岳会、北海道ガイド協会会員、登山用品店、  
道内大学山岳部等、ビジターセンター、白金観光センター、道内行政機関など
- ・ 北海道新聞3月13日夕刊に記事掲載
- ・ HBCラジオ「夕刊おがわ」で岩村代表がPR（6月26日放送）
- ・ 「山と溪谷」誌、ヤマケイオンライン、「岳人」誌に記事掲載。

#### 5. 点検パトロール日の割り当て作業

山岳団体等のパトロール日の割り当てについては、山のトイレを考える会が事務局となって「連絡会メーリングリスト」によって行いました。事務局からパトロール日を明示、先着順に希望日を登録してスムーズに担当が決まりました。

#### 6. 点検パトロール実施報告

##### 【連絡会参加団体による報告の要約】

- 仮設テント型携帯トイレブース本体は風で飛ぶことはなかったが、テントの下部が数か所破れた。原因はテントの錘として置いた石により風で擦れたと思われる。
- 携帯トイレブース内の便器に直接排泄した人はいなかった。また便座、便器の破損もなかった。ただ、ホコリで汚れていたのを拭き取り清掃したとの報告が4件あった。
- 登山口周辺や登山道、避難小屋に、使用済みの携帯トイレが残置されることはなかった。
- ブース利用カウンターの使用方を誤った登山者がいて、途中から2200番代になった。
- 小屋周辺のティッシュは8回のパトロールで28個回収。携帯トイレブース撤収時は11個。合計39個。その他登山道やテント場等に汚物が残置してあり回収している。

- 小屋のドアロックがうまく閉まらない。(白老山岳会) …9月 27日美瑛山岳会で修理。
- 小屋内は綺麗。汚れていた場合は清掃実施。ガスボンベとかペットボトルの残置があり回収。
- 携帯トイレ回収ボックスのカウンター値は7月 25日まで“0”(使用済み携帯トイレは有り)。9月 15日最終パトロール(8回目)時のカウンター値は23であった。実際にカウンターを押していない人がいるので、利用者の推定作業が必要。
- 感想・特記事項(電話でのヒアリングも含む)
  - ・回収ボックスの位置が分からなかった。(白老山岳会、日本山岳会)
  - ・鍵番号が分からないと使用できない。(白老山岳会、日本山岳会、札幌山岳連盟)
  - ・回収ボックス鍵番号は小屋内部、ブース内部等に明記してあったが、登山客は気付かれていなかった。もう少し目立った方がよい。(札幌山岳連盟)
  - ・トイレ道周辺(北海道山岳連盟)、小屋周り(道北地区勤労者山岳連盟)、小屋入口付近(パークボランティア)にて糞尿臭が漂っていた。



便座・便器の清掃



ティッシュと汚物の回収

## 7. 次年度(2016年度)の取り組みについて

携帯トイレブースと回収ボックスの利用回数実績値、登山者の意識調査、関係者のヒアリング、今回の試行実施結果の評価、課題と対策について取り纏められ環境省から別途報告される予定です。

今年度の実施結果を踏まえて、次年度に向け問題点の洗い出し、改善に向けた対策を検討し、利用者が使い易い携帯トイレシステムの導入を目指します。2016年3月12日の「山のトイレフォーラム」で報告・協議する予定です。

次年度も今年度と同じように、仮設携帯トイレブース(テント型)の点検パトロール・維持管理を分担して実施しますので、山岳団体等の皆さまの更なるご協力をお願い致します。

なお、2016年1月には来年のパトロール日を明示して、希望を募り調整・割り当て作業を行い、3月下旬までには決定する予定です。

以 上